



令和2年度の予算案をお知らせします……2・3面  
 新型コロナウイルス感染症に対する市の対応をお知らせします……4面  
 認可外保育・教育施設の利用者助成制度を拡充します……4面  
 市からのお知らせ……11面から  
 引っ越しシーズンです  
 手続きはお早めに……12面

# 質の高い防災・減災のまちづくりを目指して

## 令和2年度予算案 一般会計721億8,448万円



三鷹市長  
河村 孝

### 新年度の施政方針 (概要)

令和2年の第1回市議会定例会が2月26日に開会し、新年度の市の予算案が審議されています。今号では、河村市長が、就任後初めてとなる本格予算の編成に当たり市政経営の基本的な考え方を表明した施政方針の概要とともに、新年度の予算案と主な事業について紹介します。

予算案の概要については、2・3面で紹介しています

令和2年度は、『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』や個別計画などの各施策を具体化し、市議会や市民のみなさんのご理解をいただきながら「決断」し、共感を得て「実行」していく年度となります。新時代「令和」の幕開けを第7代三鷹市長として迎え、まもなく1年が経過しようとしています。私は、自治体間競争を勝ち抜くために、将来を見据えたビジョンを示し、施策を重点化の中で、積極果敢なまちづくりを進めていきたいと考えています。そして、新たな賑わいの創造と活性化を通して、

市内の人や事業者が三鷹市に魅力を感じ、興味を持ってまちづくりに参画していただく好循環を生み出し、三鷹のブランド力を高め、さらには、税収増と安定した財政運営へとつなげていきたいと思っています。今、三鷹市は、将来のまちづくりを展望する中で、市民サービスの在り方自体を抜本的に見直す大きな転換期を迎えています。私は、この抜本的な変革を伴う、新たな挑戦を「令和の大改革」と位置付け、きめ細かく地域課題を捉えながら、改革を実行していきたいと考えています。

### 『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』と各個別計画に基づく施策の推進

甚大な被害をもたらす自然災害から市民のみなさんの暮らしを守り、三鷹の魅力高める「質の高い防災・減災まちづくり」を施策推進の基本理念とし、すべての施策に防災・減災の横串を通し、「都市再生」と「コミュニティ創生」を中心に事業展開を図ります。また、国際連合が掲げる「SDGs」の理念を踏まえた、誰一人として取り残さない持続可能なまちづくりを推進します。



第4次基本計画ワークショップ

### 成熟した都市の質的向上をめざす「都市再生」

防災拠点に必要な機能、目標とする水準などを『防災都市づくり方針(仮称)』として策定するとともに、『三鷹市地域防災計画』を改定し、各防災拠点の機能を見直し、連携を強化することで、面的な防災都市づくりを推進します。

重点的な取り組みとしては、三鷹駅前が子どもの笑顔と夢であふれる空間となるように、「子どもの森(仮称)」のイメージコンセプトを基礎とする「三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業」を推進します。



子どもの森(仮称)イメージコンセプト

### ともに支えあう地域社会を生み出す「コミュニティ創生」

市民のみなさんの声に耳を傾け、共感を得ながら市政に反映し、市民本意のまちづくりを進めるため、市民ボランティアで構成する「参加と協働支援チーム」を新たに設置し、市職員も参加しながら地域の課題発見と解決を主体的・日常的に図る、参加と協働のまちづくりの取り組みを推進します。

子ども・子育て支援や高齢者支援施策の分野では、人財の確保と育成に向けて、三鷹市に魅力を感じ、生きがいをもって働けるよう、処遇改善やキャリア形成への支援などを行います。

学校教育の分野では、保護者や地域で活動している方々の参画を得て、地

域の力を生かした創意工夫と特色ある学校運営をさらに発展的に展開するため、学校を核とした「スクール・コミュニティ」の推進に取り組みます。



地域と学校との交流の状況

### ◆特に重点を置いた施策

#### ①待機児童の解消に向けた緊急対応

私立認可保育園の開設支援による定員拡充に加え、多様な施策を組み合わせることで創意工夫を図りながら早急な対応を進めます。また、学童保育所についても、今後の利用ニーズを見据え、民間賃貸物件の活用など多角的な視点から検討を進めます。



子ども家庭支援センターすくすくひろば

#### ②三鷹市市制施行70周年事業

三鷹市は、今年11月3日に市制施行70周年の節目を迎えます。「新時代への飛躍一輝く三鷹の未来に向けて」をテーマに、市民のみなさんに70周年を実感し、共感していただくための多様な記念事業を実施します。



70周年ラッピングバス

#### ③東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

昭和39(1964)年以来2回目の東京開催となる世界的なイベントを市全体で盛り上げ、記憶に残る素晴らしい大会となるように取り組みます。

### 「都市経営」の視点に立った持続可能な自治体経営の推進

市の資産や民間活力を含めた地域資源を有効活用し、まちの活性化を通して魅力や価値を高めていく「都市経営」の視点を加え、行政サービスの質と量の適正化など行財政改革を推進します。

# 令和2年度の予算案をお知らせします

問 財政課内線2128

2年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,090億6,565万5千円で、前年度と比較すると2億997万2千円(0.2%)の増となります。

一般会計の予算額は721億8,447万6千円で、前年度と比較すると32億867万4千円(4.7%)の増です。これは、幼児教育・保育の無償化が平年度化するほか、待機児童対策や障がい者(児)の自立支援給付費などの社会保障関連経費が増加傾向にあるためです。

特別会計の予算額の合計は368億8,117万9千円で、前年度と比較すると29億9,870万2千円(7.5%)の減です。これは、下水道事業特別会計が2年度から公営企業会計へ移行するためです。

下水道事業会計(公営企業会計)の単年度収支は、収益的収支で1億221万9千円の純利益が見込まれ、資本的収支で6億4,969万3千円の不足が見込まれています。

今号では、こうした2年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

## 各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	2年度 予算額	元年度 予算額	増減		
一般会計	72,184,476	68,975,802	3,208,674	4.7%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	18,020,914	17,554,421	466,493	2.7%
	介護サービス事業特別会計	656,659	901,762	△245,103	△27.2%
	介護保険事業特別会計	13,793,024	13,093,659	699,365	5.3%
	後期高齢者医療特別会計	4,410,582	4,266,355	144,227	3.4%
	(下水道事業特別会計)	-	4,063,684	△4,063,684	皆減
合計	36,881,179	39,879,881	△2,998,702	△7.5%	
総計	109,065,655	108,855,683	209,972	0.2%	
純計	102,357,690	100,768,378	1,589,312	1.6%	

※[純計]とは会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。  
※[△]はマイナス。

(単位：千円)

下水道事業会計 2年度予算額					
収益的 収入・支出	収入	3,562,208	資本的 収入・支出	収入	1,321,957
	支出	3,459,989		支出	1,971,650
	差し引き	102,219		差し引き	△649,693

※[△]はマイナス。

## 一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	平成28年度		29年度		30年度		令和元年度		2年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	69,539	0.2%	67,620	△2.8%	68,828	1.8%	68,976	0.2%	72,184	4.7%
うち市税	36,793	1.0%	37,290	1.4%	37,340	0.1%	38,059	1.9%	38,281	0.6%

※[△]はマイナス。

## 一般会計 721億8,448万円 (1人当たり383,960円)

※「%」は一般会計予算に占める割合を示しています。  
※1人当たりの金額は、2年度の人口見込み188,000人で割り戻した金額です。

### 歳出予算

**議会費**  
市議会の運営に



**5億863万円 0.7%**  
(1人当たり2,706円)

**総務費**  
市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



**91億6,658万円 12.7%**  
(1人当たり48,758円)

**民生費**  
社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



**370億1,540万円 51.3%**  
(1人当たり196,890円)

**衛生費**  
健康増進、ごみ処理、公害対策などに



**42億9,163万円 5.9%**  
(1人当たり22,828円)

**土木費**  
道路、公園整備、緑化対策などに



**61億5,117万円 8.5%**  
(1人当たり32,719円)

**消防費**  
消防や防災対策などに



**22億1,057万円 3.1%**  
(1人当たり11,758円)

**教育費**  
小・中学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに



**83億153万円 11.5%**  
(1人当たり44,157円)

**公債費**  
市債(借入金)の返済に



**37億3,096万円 5.2%**  
(1人当たり19,846円)

**そのほか**  
消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに



**8億801万円 1.1%**  
(1人当たり4,298円)

### 歳入予算

**市税**  
みなさんからお預かりする税金



**382億8,117万円 53.0%**  
(1人当たり203,623円)

**各種交付金**  
使い方が定められていない国・都からの交付金など



**53億6,804万円 7.4%**  
(1人当たり28,553円)

**使用料・手数料、分担金・負担金**  
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入



**16億8,581万円 2.3%**  
(1人当たり8,967円)

**国庫支出金**  
使い方が定められている国からの負担金・補助金



**120億8,587万円 16.8%**  
(1人当たり64,287円)

**都支出金**  
使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



**99億7,623万円 13.8%**  
(1人当たり53,065円)

**繰入金**  
基金(貯金)の取り崩しなど



**12億4,353万円 1.7%**  
(1人当たり6,615円)

**市債**  
都市再生に係る事業などのための借入金



**12億1,530万円 1.7%**  
(1人当たり6,464円)

**そのほか**  
前年度決算の繰越金や財産売却収入など



**23億2,853万円 3.3%**  
(1人当たり12,386円)

## 2年度の主な事業

### 成熟した都市の質的向上をめざす「都市再生」

- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザおよび駅前のWi-Fi環境の整備 2,355万2千円
- 「新都市再生ビジョン(仮称)」の策定に向けた取り組み 7,805万1千円
- 市内産農産物の活用促進に向けた取り組み 949万6千円
- 三鷹駅前周辺地区のまちづくりの推進 6億1,395万2千円
- 宮下橋の架け替え工事の着手 1億6,412万1千円
- みたかバスターの抜本的な見直し 1,282万7千円
- 用途地域などの見直し 1,726万2千円
- 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進(※) 210万1千円
- 浸水ハザードマップの更新などによる防災意識の啓発 658万7千円
- 災害対策用備蓄品の拡充 549万円
- デジタル技術を活用した防災・減災対策モデル事業の実施 780万円
- 「三鷹市地域防災計画」の改定 500万円



(※)「子どもの森(仮称)」のイメージコンセプト(写真)を基礎に、UR都市機構と連携し、地権者などの合意形成を図りながら、都市計画決定に向けた取り組みを進めます。早期事業化を目指して、市街地再開発事業の区域、道路や広場の配置、「にぎわい」に寄与する施設や文化発信施設の機能などの検討を進め、「新三鷹駅前地区再開発基本計画(仮称)」の策定に取り組まします。

### ともに支えあう地域社会を生み出す「コミュニティ創生」

- 三鷹のブランド力向上に向けた三鷹ネットワーク大学での研究への支援 1,182万8千円
- 新たな参加と協働の仕組みづくり 830万4千円
- コミュニティ創生および地域自治組織などの活動支援の推進 236万7千円
- 介護人材の確保に向けた支援の推進 2,953万5千円
- 旧どんぐり山施設の利活用(※) 222万6千円
- 企業主導型保育施設に対する保育人材の確保・定着支援 4,090万3千円
- 産後ケア事業(ゆりかごプラス)の拡充 3,290万2千円
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展 1,415万2千円
- 学力・学習状況調査の実施 470万1千円
- 学校体育館への空調設備の計画的な整備 1億240万7千円



(※)旧どんぐり山施設(写真)について、在宅医療・介護連携のモデル施設、福祉人材育成の拠点として活用を図るため、新たに研究会を設置して調査・研究を進めます。

### 緊急対応方針に基づく取り組み

- 認可外保育施設利用助成の拡充 2億1,642万7千円
- 定期利用保育事業の実施 1億5,748万8千円
- 私立認可保育園の開設支援 3億1,523万4千円
- 学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み 1億6,069万9千円

### そのほかの重点施策

- まちづくり応援寄付の推進 1,617万4千円
- 平和施策のさらなる推進(※) 961万円
- 市制施行70周年の記念事業の展開(※) 5,789万4千円
- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検 1,749万円
- 市民の利便性向上と職員の業務効率性向上に向けたデジタル環境の整備 1,295万2千円
- 自治体クラウドの導入に向けた取り組み 3億9,152万8千円
- 休日診療所・休日調剤薬局などの一体的整備に向けた取り組み 1万7千円
- 受動喫煙防止に関する条例の制定に向けた取り組み および公衆喫煙所の設置に向けた設計 259万9千円
- 川上郷自然の村の災害復旧対策事業の実施 2億1,533万円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う市民一体となった感動体験の創出とレガシーの創造(※) 1億1,789万1千円



(※)令和2年は戦後75年に当たることから、平和への願いを次世代へ継承するため、市役所本庁舎に設置している平和資料コーナーを拡充するほか、仙川公園(写真)の名称を平和への願いを込めた名称に変更するなど、平和施策のさらなる展開を図ります。



(※)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、東京都、組織委員会と連携するとともに、東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議と協働し、市民の感動体験と市民に受け継がれるレガシーを創造します。また、子どもたちの記憶に残る大会となるような取り組みを進めます(写真はラグビーワールドカップ2019™パブリックビューイングの様子)。

『令和2年度施政方針・予算概要』(1冊200円)、『令和2年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書』(1冊900円)は、相談・情報課(市役所2階)☎内線2215で販売しています。また、市ホームページでもご覧いただけます。